



秋季号・10月月刊合併号

| | | |
|------------------------|-----------------------------------|----|
| 欧州議会でハンガリーへの7条制裁報告可決 | 盛田 常夫 | 1 |
| 月刊ニュースダイジェスト | 鷺尾 亜子 | 5 |
| 福田和代のウイーン便り モネ展とブリュッセル | 福田 和代・ | 8 |
| みどりの丘ブダベスト補習校 補習校引越 | 桑原 由圭 | 10 |
| 日本人学校 ふれあい大運動会 | 柏 鈴乃・川喜田 希 | 13 |
| 一滴の水について | ムト・バトリーツィア | 15 |
| 東京大学サマーコースに参加して | Klau-Barbi-Levi-Fruzsi-Borsi-Dora | 18 |
| 柔道指導者としてのハンガリーでの生活 | 川口 優大 | 22 |
| 日本人音楽家としてハンガリーで何ができるのか | 渡辺 絢星 | 25 |
| イベント、オペラ、コンサート情報 | 桑名 一恵 | 29 |

Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneco Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換—医術から医学へ

サース・アンドラーシュ / 盛田常夫 [著]



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存(NTD)効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却:リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)

欧州議会でハンガリーへの7条制裁を求める報告が可決

盛田 常夫

欧州議会決議—前例のない制裁決議

9月12日の欧州議会は、オランダの緑の党に属するオランダのサンジェルティーニ議員が提案したハンガリーへの制裁提案を可決した。欧州議会が加盟国の制裁提案を可決したのは初めてで、昨年12月に欧州委員会がポーランドにたいする制裁手続きを開始したのに続き、加盟国への制裁を議題に載せることになった。

来年に議会選挙を控える欧州議会は、それぞれの議員や政治党派が様々な思惑で、自らの政治行動をアピールする場になっている。ハンガリー・オルバン政権樹立からここまで、ハンガリー政府の国内施策が、EUの理念や法に反する疑いがあると、EU委員会から繰り返し改善勧告を受けてきた。しかし、問答無用の非協力的な態度をとるポーランド政府とは異なり、ハンガリーはそのたびに、是正勧告に従う姿勢を明らかにしてきた。したがって、今回の制裁提案は唐突さを否めないが、依然として懸案事項が存在することも事実である。

サンジェルティーニ提案は、これまでハンガリー政府が受けた勧告や懸念を分野別に列挙したもので、何か新しい事実や発見にもとづくものではない。提案で一番多くの紙幅を使っているのは、「移民、難民の基本的権利」の分野で、主として国連の難民高等弁務官事務所が発してきたハンガリー政府の対応への懸念と批判である。奇妙なことに、そこにはEU司法理事会が提案し、

ハンガリーが拒否した強制的難民割当についての言及はない。

オランダ、ベルギーを含め、北欧諸国には難民・移民受入れ拒否を貫くハンガリーへの苛立ちが存在する。何らかの形でハンガリーを制裁すべきという意見が強い。ただ、強制割当が現実には機能していないことや、無条件の移民受入れにたいする批判が各国で強まったことで、ハンガリーへの批判は和らいでいる。その中で提案されたのが、サンジェルティーニ報告である。

CEU 廃校工作

ハンガリー政府を構成している政党 FIDESZ は、欧州議会の最大党派、欧州人民党に属しているが、今回の投票では党派の三分の二が報告に賛成票を投じたと言われる。党派の代表者であるマンフレート・ウェーバーは自らも賛成票を投じたことを表明し、「難しい判断だったが、CEU (Central European University) や民間のヴォランティア団体にたいする抑圧的な政策を支持できないから、賛成票を投じた。ただ、ハンガリーだけが非難されるべきではなく、ルーマニアでは腐敗にたいするデモが発生し、スロヴァキアでは政権の腐敗を暴いた記者が殺害されるなど、もっと目を向けるべき問題がある」と述べている。

実際のところ、ソロスが資金を出して設立された CEU にたいして、ハンガリー政府は高等教育法を改正して、潰しにかかった

のは事実である。オルバン首相は政権批判に敏感で、政敵を潰すことに全力を注ぐ。とくに、2015年の難民・移民の大量流入の際に、ソロスが激しくハンガリー政府を批判した経緯があり、ソロスの息がかかっている組織を抑圧することによってソロスへの意趣返しを意図したと考えられる。



しかし、いかにソロスが出資したとはいえ、実際の大学教育がソロスのイデオロギーにもとづいて行われているわけではない。しかも、CEUの教育は国際的に高く評価されており、欧州の大学ランキングも高い。政治家オルバンはイデオロギーで組織や個人を単純に評価する傾向があり、学問や研究の自由より、自らが掲げるイデオロギーを優先する。「ソロスが設立した大学では難民・移民を歓迎する教育が行われており、ハンガリーの国益にとって有害だ」という単純な思い込みがCEU廃校工作となった。あまりにナイーブだが、首相の意向を実現すべく、側近がCEUを潰す方策を考えた。

CEUはアメリカにキャンパスをもたず、ニューヨーク州の教育ライセンスにもとづいてハンガリーに設立された大学院大学である。ハンガリーの当局者は、ここにCEU設立の弱点があると高等教育法を改正した。その要点は、「ハンガリーで認可される外国の大学は、本国にキャンパスを保有していること」を条件にすることで、この条件を満たさないCEUを廃校に追い込もうとしたのである。

これにたいして、CEUはニューヨーク州にキャンパスを開き、高等教育機関の条件を充足することで廃校を避けた。ニューヨーク州もまたハンガリー政府との協定締結に動き、ニューヨーク州とハンガリー政府との間で協定案が作成された。しかし、簡単に首を縦に振らないオルバン首相の意向を受けて、担当大臣が協定書に署名しないまま時間が過ぎている。いろいろな理由を付けて協定署名を遅らせている。

また、CEUのHPを見ると、「登録された難民への教育プログラム」が8月28日付けで停止されたことがアナウンスされている。8月24日付けの法改正によって、この教育プログラムにたいして25%の課税の可能性があり、事態が明確になるまで、この教育プログラムは停止されるというものである。これはハンガリー政府が決定した「移民特別税」にかかわるものであり、非常に多くの問題を孕んでいる法律である。

移民支援組織への課税：「移民特別税」

さてそこで、欧州人民党代表ウエーバーが指摘したもう一つの問題だが、ハンガリー政府は難民・移民を支援する民間のヴォランティア団体が、ソロス財団の支援を受けているとして、ヴォランティア団体の会計報告を厳格化することで、締め付けをおこなってきた。

2017年6月27日から施行された「国外の支援を受けた団体の透明性に関する法律」で、ハンガリー政府は外国から支援を受けているヴォランティア団体の締め付けに動き出した。この法律が適用される団体は、年間720万Ft（およそ300万円）以上の援助を国外から受けている団体・組織で、これらの組織・団体は管轄庁に登録され、年間50万Ft（およそ20万円）の寄付をする団体・個人について、名称（氏名）・所在地等を報告しなければならない。これを怠った者は

罰則を受ける。

こうした法律は EU 内でハンガリーが初めて採択したものであり、ソロスに繋がる財団や組織の締め付けを狙ったものである。

ハンガリー政府は、これに続いて、「Stop Soros」と称する法律の制定を狙い、その一環として、「移民特別税」（2018 年 8 月 25 日施行）を制定し、難民・移民に手を差し伸べるヴォランティア団体に特別課税する法律を制定した。この法律の対象となるのは、移民を促進する活動を行っている組織で、移民教育組織、移民支援ネットワーク、移民促進のプロパガンダの活動を行っている者



である。これらの組織は物的な支援を受けた月の 15 日までに、税務当局に資金を提供した組織名・所在地、援助額を報告し、援助額の 25%を「特別税」として支払わなければならない。

この法律にもとづく最初の申告期日は 2018 年 9 月 17 日である。これを怠った者は追徴や制裁を受ける。

かくように、現在のハンガリー政府は政府に批判的な組織や団体を締め付ける方向に動いていることは事実である。したがって、この面で EU の基本的価値を損なっていると批判されても仕方がない。CEU が法的に登録された難民の教育プログラムの中止を決めたのは、特別課税の対象となる恐れがあるからである。

岐路に立つ科学アカデミー

学問・研究の自由にかんして言えば、現

在、ハンガリー科学アカデミーとハンガリー政府との間で、アカデミー所属の研究機関の統廃合が大きな問題となっている。ハンガリー政府側が事前の協議なしに、一方的に大学に統合すべき研究所、一つにまとめる研究所、廃止される研究所のリストを提出したために、科学アカデミー総裁は政府協議を打ち切った。「初めに統廃合ありき」では交渉出来ないというのが、アカデミー総裁の立場である。また、廃止が検討されている研究所の一つが、「科学アカデミー付属経済研究所」だと言われている。政府側の交渉担当者はパルコヴィッチ技術革新省大臣だが、教育政務次官時代に打ち出した教育改革を厳しく批判した経済研究所への意趣返しだとも言われている。

もっとも、旧社会主義国家に存在した「科学アカデミー」制度が時代遅れの存在になっており、その再編成は不可欠である。しかし、何ごとにも FIDESZ 政権は上意下達で事態を処理しており、関係者とのコミュニケーションがない。こういうこともあって、FIDESZ 政権にたいする知識人の反発は日増しに高まっており、これまで政権を支持してきた知識人も、FIDESZ 政権に批判的になっている。他方、現在の政権の基盤は知的水準が高い都市の住民ではなく、地方の一般庶民である。大多数を占める素朴な庶民に感性的に訴えて支持を得ている FIDESZ 政権は、知識人層の離反を覚悟で、政策展開を進めているように見える。知識人の社会層は薄いからたいした政治力を持たない。多数を占める地方の住民の支持を固めれば、政権は安泰である。これこそ、ポピュリズムの神髄である。

政権政党の横暴

有権者の絶対得票率で 35%しか支持を得ていない FIDESZ 政権は三分の二の議席を保有して、一党独裁状態である。政権への批判

にはきわめて敏感で、ハンガリーテニス協会の会長に選出されたスーチ・ライヨシュ (FIDESZ 国会議員) は、臨時総会で規約改正を行い、協会の活動に関して、協会内での了承がない限り、勝手に裁判所に訴えたり、メディアに訴えたりすることを禁止する規約を採択した。

有力選手が反旗を翻す中、FIDESZ はテニス協会にまで政治的影響を広げようとして選手の反発を招いている。社会主義時代より性質が悪い。

ハンガリー政府の対応

欧州議会の議決を受けて、ハンガリー政府は議決無効を訴える戦術を展開している。欧州議会の制裁決議には投票数の三分の二の賛成票が必要だが、今回の議決にあたって、保留を投票数から除外する手続きが行われた (投票数 693、賛成 448、反対 197、保留 48)。投票総数から保留票 48 票を除き、それを母数にした賛成票 448 票はほぼ 7 割の賛成率になるが、保留票を母数に入れると、三分の二にわずかばかり届かない。ハン

ガリー政府は、「保留票を除外することは基本条約の投票規定に反し、今回の議決は無効である」と主張している。ハンガリー政府は欧州司法裁判所へ提訴する構えを見せており、制裁への手続きははるか先である。

12 日の投票に先立って、オルバン首相は欧州議会で演説し、「制裁はハンガリー国民への侮辱であり、移民推進派の陰謀である」と述べ、ハンガリーが移民国家にならないという決意を繰り返し表明した。このハンガリー語の演説は、国内向けだった。

ハンガリーの野党出身の欧州議会議員は、Jobbik が保留、LMP が欠席の他、すべての野党議員は賛成票を投じた。国内で劣勢にある野党は国際的な場で、他国の議員の力を借りて自国政府を批判するのが日常化している。

関連する記事は

<http://morita-from-hungary.com>

を参照されたい

ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー

GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

www.gere-club-japan.com

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



KOPAR 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、
ハンガリー国内は20ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。

www.gere-club-japan.com

ハンガリー月間ニュースダイジェスト（9月1日～9月21日）

鷲尾 亜子

欧州議会、対ハンガリー制裁手続き着手を支持

欧州議会は12日、欧州条約7条に基づき、対ハンガリー制裁手続きの開始を勧告する報告書を、3分の2超の支持を得て採択した。欧州議会がこのような重大な決定をするのは初めて。このまま進むと、究極的には欧州理事会でのハンガリーの議決権停止に至る。いったい何が問題なのか。果たして本当に制裁発動にまで至るのか。

基本理念の重大侵害リスク

報告書は、欧州議会内の「市民的自由・司法・内務委員会（LIBE）」が取り纏め採択したものだ。（取り纏めた欧州議員の名を採って「サルジェンティエーニ報告書」と呼ばれる。報告書作成までの経緯についてはハンガリージャーナル2017年6月号を参照されたい。）報告書は、ハンガリーにおいては法の支配や報道の自由、学術研究の自由などの「EUの基本理念の重大侵害のリスクが明確にある」と結論付けた。

オルバーン首相が率いる現政権は2010年に発足して以来、基本法（新憲法）を始め、重要な法律をことごとく改正してきた。その度に、国内外から人権の縮小、司法独立や報道の自由の制限などにつながる、民主制の後退と批判された。

これまでは欧州委員会がハンガリーに対し、EU関連法の侵害手続きを開始。欧州委と政府が協議し、問題がないよう法を修正するというのが常套であった。ただ、一連の修正が施され「法の文言上の問題」は解決されても、実態として民主主義が後退しているという猜疑心が消えることはなかった。むしろ、近年はますます増幅していた。それは現政権が、非政府組織NGOの活動に圧力をかけるような法、難民庇護申請を著しく困難にする法、政府がターゲットにする米投機家ソロス氏創設のCEU大学の運営を窮地に追いやる法など、休むことなく導入

を図っているからである。

ハンガリー政府は「復讐」、「脅しだ」と反発

オルバーン首相は、欧州議会での採決の前日、本会議で、そもそもサルジェンティエーニ報告書には、既に欧州委と決着済みの事項を蒸し返すなど、事実誤認が多いと主張。このような報告書は、ハンガリーが移民受け入れを拒否していることに対する「親移民派」の復讐であり、黙らせ強要させるための「脅し」という論戦を張っている。だから「脅しには屈しない」としている。

また、いつものように、政府に対する批判ではなく、「常に自由のために闘ってきたハンガリー、ハンガリー人に対する非難である」と述べた。

欧州議会での採決後は、その方法がEU関連条約には沿っておらず、今後法的手段に訴える予定。議会では、賛成（448）、反対（197）、棄権（48）の合計693で、議会のカウント方式は棄権分を除くもの。ハンガリー政府は、棄権分は含まれるべきという解釈。そうならば3分の2には達していなかったと主張している。

制裁の発動可能性は低く

今回の欧州議会の採択によって、ハンガリーへの制裁が一足飛びに加えられるわけではない。EUは加盟国の平等が原則。そのため、「議決権の停止」は劇的な措置になるので、慎重に幾つかのステップを超えない限り実現しない。

EU基本理念を違反した場合の制裁メカニズム（欧州条約7条）には、3段階ある。現在は第1段階の「重大な侵害の明らかなるリスクがある」かの判断課程の半ばである。

今後、欧州理事会（加盟各国首脳、欧州委員会委員長、欧州理事会議長）の5分の4がそのようなリスクがあると見ない限り、第2段階には進まない。第2段階では、「深刻で、かつ継続的な違反がある」かを判断するが、ここでもまた欧州議会の3分の2の

支持、その次に欧州議会の全会一致（ハンガリーは除く）が必要になる。

第3段階でようやく制裁発動となるが、この発動にも欧州議会の特定多数決方式での多数(*)の支持を得なければならない。(*構成国の票数の55パーセント以上が支持、かつ支持国全体の人口が全EU人口の65パーセント以上の場合可決)

こうして見ると、実際の発動に至る可能性は極めて低いことがわかりいただけるだろう。特に欧州理事会での「全会一致」の要件は、非常に高いハードルだ。ポーランドは早々にハンガリー支持を再確認しているため、まず実現しそうにない。ポーランド自身も、司法改革で欧州委員会から昨年12月に7条制裁手続き着手提案がなされており、ハンガリーは直ちに擁護していた。両国はがっちり肩を組んでいるのである。また、チェコのバビシュ首相もハンガリーに連帯を示している。

7条は直ちに制裁を施すこと自体が目的というよりは、基本理念侵害の予防であり、もともと手続きの過程で対象国が是正することを期待するものであろう。

欧州議会選挙で風向き変わるか

今後、ハンガリーへの制裁手続きの進み具合については、もう一つの要素を考える必要がある。それは、欧州議会選挙である。欧州条約7条のそれぞれの段階には、具体的な期限は設けられていないため、途中で来春に予定されている選挙を迎えるのは確実。この選挙いかんで風向きが変わる可能性もある。

欧州議会選挙は5年毎に実施されている。これまで、各国の議会選挙と比較して確たる争点も乏しく、有権者の関心も低かった。ハンガリーでも、前回2014年の投票率は僅か28.9%だった。しかし次回の選挙は、有権者が「どのような欧州にしたいのか」を選ぶ重要な選挙になりそうだ。

前回の選挙以降、欧州は2015年の難民移民の大量流入で政治的、社会的に大きく混乱した。パリやブリュッセルなどでテロ事件も発生した。並行して、ハンガリーやポ

ーランドで、EU基本理念の違反と懸念される法改正をする政権が根を張り力を増した。オルバーン首相や他国のナショナリスト、ポピュリストとされる政党らは、「国家の主権」を前面にかざし、加盟各国の権利をさらに移す形で進められるEU統合深化には反対だ。こうした勢力が、反移民、キリスト教の欧州を守ることなどを大義に、効果的な結集の道を模索している。

仮にこうした勢力がより多くの議席を獲得すれば、第7条制裁のステップが進む可能性はさらに低くなる一方で、新議会で選出される欧州委員会委員長も現在のユンケル氏と違い、オルバーン氏にとって有利な人物になることさえ考えられる。

最大会派のジレンマ

欧州議会では、オルバーン首相が率いる与党フィデス・ハンガリー市民同盟(Fidesz)は「欧州人民党グループ(EPP)」に属している。EPPは中道右派でキリスト教民主主義、保守主義などとされる政党が集まる最大会派である。

今回の欧州議会の制裁手続き勧告報告書は、本来はFideszの仲間であるはずのEPPに属す欧州議員も124人が支持票を投じた。反対したのは57人(Fidesz議員も含む)、棄権が28人だった。EPPのヴェーバー代表は採決の前日、投票行動は各党に委ねるとし、統一は図らなかった。しかし自身は、制裁手続きに賛成票を投じると表明。これまでも全体としては対話で解決を図ろうとしてきたEPP内で、大勢が変わったことが示された。

報告書採択には議会の3分の2の支持が必要だったため、EPPから賛成票が入れられたことが今回の結果の決定的要因となった。

EPP内の風向きが変わったことを察したオルバーン氏は、議会での採決前夜に、EPPはFideszを除名、少なくともメンバー資格を一時停止とするだろうと見通しを述べていた。そして、EPPと社会党、リベラル派系の政党らは、欧州議会選挙後に、移民を受

け入れるため手を結び会派を作るに違いない、と吐くようにして述べていた。

ただし実際は、EPP は制裁手続き着手が決定した 1 週間後、会合を持った際も、Fidesz の除名や資格一時停止などは決定していない。当面は、手続きの行方を注視するというスタンスの模様。

ヴェーバー代表は、次期欧州委員長に立

候補を表明したばかり。欧州委員長は欧州議会選挙の後の新議会で選出されるため、最大会派を保つことがカギになる。対ハンガリーの制裁手続き着手自体には容認の姿勢を見せつつも、Fidesz 完全切り捨てのカードを切り白黒はっきりさせることは現時点ではしなかった。様々な思惑が絡まりあっているのである。

筆者の関連記事は以下を参照

https://twitter.com/ako_washio

<http://hungarybusinessnews.net/>



ハンガリー暮らしの健康手帖

健康医療関連の情報を提供・交換・共有できる場を作りたいと思い
在住者の総合ブログを立ち上げました。どうぞご覧ください。

<http://health-note-hu.net>

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

ハンガリー・ヴィッラーニ地方の赤ブドウ加工品

GEREワイナリー製品

無添加自然加工(自然の恵みもの)
ポリフェノミクロン(商標登録申請中)



100% SZŐLŐMAG OLAJ シードオイル(箱付き、250ml)

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%

使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。



SZŐLŐMAG & HÉJ MIKROŐRLEMÉNY 種子と果皮のミクロ粉末 (ポリフェノミクロン) (カプセル180個)



100% SZŐLŐMAG OLAJ/ KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ シードオイル&ポリフェノミクロンセット (化粧箱入り)

KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

種子と果皮のミクロ粉末
(缶入りー徳用缶、150g)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの種子と果皮を粉碎したミクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。

使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。

1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2回に分けて摂取。

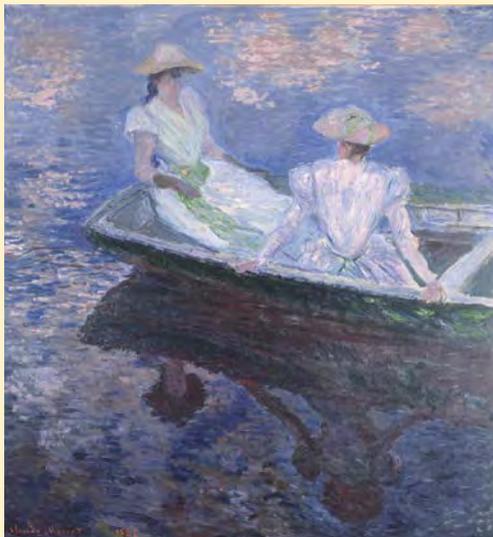


以下のサイトから購入できます。

<https://www.gere-club-japan.com>

モネ展とブリューゲル展

アルベルティーナ美術館での「モネ」展と美術史博物館での「ブリューゲル」展はウィーンで今年最大の特別展と言える。モネ展は9月21日から2019年1月6日まで、ブリューゲル展は10月2日から2019年1月13日まで。どちらも多くの入場者を見込んでおり、アルベルティーナの開館時間はモネ展が始まると、通常の10時より1時間早く9時からとなる。美術史博物館の開館はブリューゲル展が始まると、通常は月曜日定休が、閉館日なしで毎日となる。しかもブリューゲル展には入場時間予約制の特別チケットが必要で、このチケットを買わないとブリューゲル展に入場できない。



アルベルティーナのモネ展のポスターやカタログの表紙に使われている作品「船遊び」は、月刊ウィーン9月号の表紙にも使っているが、ブルーが印象的なたいへん美しい名画である。この作品に合わせるかのように、展示会場にはブルーの絨毯が新たに敷かれている。「舟遊び」は国立西洋美術館（東京）の所蔵作品で、今回のモネ展では日本からだけでなく、オルセー美術館（パリ）、ポスト

ン美術館、ロンドン・ナショナル・ギャラリー、プーシキン美術館（モスクワ）など世界40カ所の美術館や個人コレクションから、百点が貸し出されている。特にマルモッタン・モネ美術館（パリ）からは多数の作品が提供されている。

国立西洋美術館はフランス政府から日本に返還された「松方コレクション」を保存・公開するために設立された。1959年3月に建物が落成し、4月に松方コレクション返還作品が横浜港に到着、6月に開館し一般公開された。松方コレクションとは、当時川崎造船所の初代社長・松方幸次郎氏（1865-1950）が1910年代後半から1920年代後半にかけてイギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパ各地で買い集めた西洋近代の絵画、版画、彫刻、家具、タペストリーなど西洋美術約3000点と、日本の浮世絵約8000点という膨大な美術コレクション。彼は日本に美術館を建てて本物の西洋美術を公開しようとした。購入した作品を日本に持ち帰り、その準備をしていたが、1927年の経済恐慌により川崎造船も経済危機に陥り、日本に運ばれた美術品は売却され散逸してしまった。日本に持ち帰らずヨーロッパに残されていた作品のうち、ロンドンにあった約950点と推測される作品群は1939年の火災で焼失し、パリに残された作品約400点は、第二次世界大戦末期に敵国人財産としてフランス政府に押収されてしまった。戦後、1950年から日仏政府間で松方コレクション返還交渉が始まり難航したが、1951年のサンフランシスコ講和会議の際に返還が決まった。フランスを含む連合国の管理下にある日本の財産はそれぞれの国が没収するが個人の

財産は所有者に返還されるはずであったのに、なぜか松方コレクションはフランスの国有財産になってしまった。返還は松方コレクションの全ての作品でなく、絵画 196 点、素描 80 点、版画 26 点、彫刻 63 点、書籍 5 点の計 370 点が、そのための美術館を建設して展示するという条件付きで、しかも「寄贈」という言葉をつけて、1959 年に正式調印され、返還された。こうして、クロード・モネ「舟遊び」（1887 年制作）も数奇な運命を共にして日本に渡り、この度はウィーンに運ばれて、今話題のモネ展の主役になっている。



美術史博物館のブリューゲル展は「一生に一度しかない展覧会」と銘打っているだけのことはあり、ウィーン・ブリューゲル・プロジェクトによる新たな科学的分析と研究も紹介されるなど、内容は素晴らしい。ブリューゲルの作品約 90 点、うち絵画 30 点が展示される。10 月 1 日のブリューゲル展オープニングにはベルギー国王も臨席し、ブリューゲル没後 450 年のお祭りにふさわしい舞台が用意されている。

美術史博物館の入場チケットは大人レギュラー価格で 15 ユーロだが、このいつものチケットではブリューゲル展に入場できない。ブリューゲル展には、15 分刻

みで予約できる入場時間予約チケットが必要で、これが 20 ユーロ。入場時間の予約はこの春から受け付けているので、今からでは人気の曜日や時間帯はもう選べないかもしれない。時間予約なしにいつでも優先的に入場できるチケットは 30 ユーロ。いずれも鑑賞時間の制限はない。金曜日の 18 時半から 20 時半までウェルカムドリンク付きのガイドツアーのセット券 49 ユーロ。これからは寒くなることだし、何時間も行列に並ぶよりずっと合理的だと言える。



筆者は 30 年以上も前のことだが、ブリューゲル見たさに何度も美術史博物館に通った。学生だったから入場料は数百円程度。今のように開館前から並ぶ人の列ができるようなことはなく、作品の前にロープが張られておらず、アラームが鳴ったりすることもなく、ほぼ独占して鑑賞に浸ったことが懐かしい。今は 19 歳以下は無料だから若い訪問者が多くなったのは結構だが、いつも人が多くてゆっくり鑑賞する雰囲気はなくなってしまった。それでもやはり美術史博物館は一見以上の値がある。まして今回のブリューゲル展は見逃すことのできない一大イベントである。

Midorino oka

みどりの丘日本語補習校

バ

ザ

ー
Bazaar



日時



2018年11月18日 (日)



13時～15時



手作り小物
雑貨・食器
大人・子供服



靴
和食
書籍・DVD

場所：ブダペスト2区 Szent Angéla小学校内
1024 Budapest Ady Endre utca 3

みどりの丘ブダペスト補習校便り

補習校引越し

桑原 由圭

引越し

この度引越しをすることとなりました、みどりの丘ブダペスト補習校。沢山の方々の尽力のもと SZENT ANGÉLA FERENCES ÁLTALÁNOS ISKOLA ÉS GIMNÁZIUM という学校校舎をお借りできることとなり、気持ち新たにスタートしました。新しい場所、新しい学校との関係、これから穏やかに続けられることを祈りつつ、9月1日に2学期がスタートした補習校でございます。

アクセス方法はバス、トラム、車。

11番バス 「füge utca」から徒歩4分
の木陰が気持ち良い階段登る運動不足解消
コース

4/6トラム 「Mechwart liget」から徒歩
7分の大きな噴水のある公園の側を通る
コース

91番バス 「Zivatar utca」から徒歩4
分の子連れにも優しい緩やかな坂のコース

車は停めてはいけないところをおさえて
おけば、何とか駐車スペースが見つかりま
す。

場所も変わって忙しく慌ただしいと感じ
るか、新鮮で面白いと思うか。少しでもプラ
スな気持ちになれるよう新鮮だと思って新

しい場所を楽しみながら過ごしていきたい
と思っています。

新鮮だと思った例を1つ。学校施設には
よくあることなのでしょう、トイレにつ
いて「紙を取ってから入る」システムになっ
ていたり。校舎内の教室や廊下、色々な所
にあるその学校の生徒たちの作品であつた
り、古い地図や記録。校庭にはバスケットや
サッカーのできるスペース、小さいけれど
走幅跳もできる砂場にブランコや滑り台、
ベンチも充実していますので小さなお子様
連れの方々も、天気さえ良ければ過ごしや
すい環境になっています。



警察の建物も近くにあるということで、見回りはちょっとドキドキしてしまうけれど、駐車場に並ぶ何台ものパトカーの姿は、子どもたちには楽しいかもしれません。

11月に予定されているバザーも、同校で行われます。どのような規模になるか、どういったスペースがもたれるか、詳しくは後々のホームページ等をご確認願います。

ふれあい大運動会

9月2日(日)には American International School of Budapest にて『ふれあい大運動会』が開催されました。日本人学校の運動会に参加させていただけるとのことで、ここハンガリーにおいて日本という国の雰囲気や「運動会」という特殊な場面によって味わえるとても貴重な機会かと思われま

す。プログラムには日本では絶対になさそうな「デカパン競争」というものがあり、おそらく二人三脚の代わりにある競技と思われま

すが、子どもが楽々片方ずつに収まるような大きなズボンにおさまって競走するというような面白いものや、子供と手をつないで走る「親子でデート」、「いいものなあに」といった未就学児も共に楽しめるような競技もありました。その他「短距離競争」、「つなひき」、「リレー」といった競技がありました。

親が参加できるプログラムには「パン食い競争」、「つなひき」、「玉入れ」、「リレー」などがあり、大変盛り上がったそうです。普段運動する機会の少ない親たちにとっても、体を動かす良い機会とも思われます。お昼ご飯のお弁当はお母様方にはちょっと大変かもしれませんが、お弁当と引き換えにお

父様方に頑張っていただくのも良いかもしれません。

日本人学校の生徒による華傘音頭や組体操はとても素晴らしく、特に組体操は日本の運動会を経験してきて、ハンガリーの学校状況もよく知る親たちにとってはとても感動されるに違いないでしょう。

そして補習校として戦ったりレーの5年生～中学部では優勝するという快挙を成し遂げました。

補習校に関わっていく

授業と宿題、授業と授業の用意、送り迎えや宿題の手伝いなど、生活の上にプラスされるこの補習校の関係者皆様の生活について。生徒も先生も親も、普通に生活している人たちと比べたらやることが多いのだな、と実感したこの数ヶ月でした。

補習校に通う子供達は、日本の学校で普通に日本語で勉強している子供達とは日本語の使用頻度が違います。そこを日本と同じ教科書、進み具合、足並みを揃えて一年やりきる先生方の努力と手腕には本当に頭が上がりません。それに応える子供達にも。

子供達が少しでも勉強しやすい環境を、先生方が少しでも活動しやすい環境を、それをサポートする補習校に関わる生徒たちの親も活動しやすい環境や状況を、みんな

で模索しながらやっていけたらいいなと思う今日この頃です。

我が家では、何とか日本とつながりを持っていきたい、子供に日本を知っていてほしい、と願いを込めつつ、時には喧嘩もしながら宿題に取り組んでおります。

ハンガリーの学校の、ほかの子供たちが休んでいる土曜日を約半日とはいえ補習校

に通う我が子を見ていて、ここまでさせるべきなのかと葛藤してしまうこともあります。自分でも悩むそのことに対してハンガリー人の親戚に「なぜ土曜まで勉強させるのか」と問われると、うまく答えられず、子供のためと思いつつも自分のためにさせているのではないかとふと考え込んでしまう時もあります。土曜日を潰してまで勉強なんて、と言う気持ちもわかります。しかし日本人である自分としては日本に行くかもしれないし、日本で生活することになるかも

しれないし、何より日本と関わりを持って行ってほしい。

何より日本語で話せる家族がここにいることが嬉しい。日本語が、これから先子供達の関わっていく未来に何かの助けになることを祈りつつ。質問されるたびに考えて行くべきことなのだろうと思っています。

いつか日本語で本が読めるようになって、映画も一緒に楽しめるようになることを目標に親子共々頑張っていきたいと思っています。



日本人学校

ふれあい大運動会

短い練習期間の中で、みんな応援歌とダンスを覚えてきてくれました。応援練習の時、私が下級生に上手く伝えることができなかつたり、体調を崩し声が出なかつたりしたとき、中学部の人たちが代わってやってくれました。また、私が応援歌をある曲の替え歌でやることを伝えたら、「すすのちゃん、応援歌の原曲を探して聴いてくるね」と言ってくれる子がいて、とても嬉しかったです。こうやって、練習の段階から助け合ったり、協力・団結したりすることができたため、運動会当日は優勝することができました。たよりない団長だったけど、みんながついてきてくれたことがとても嬉しかったです。

運動会の練習を通して学んだ「助け合うこと」「協力すること」は当たり前なことなのかもしれないけれど、団長という任務を経て、改めてその大切さに気づくことができました。今回学んだことを日々の学校生活にも生かしていきたいです。

紅組団長 柏 鈴乃（かしわ すずの）



最初は、みんなに団長と呼ばれることに戸惑いました。私が本当に団長でいいのだろうかと不安でした。私を助けてくれたのは、白組の中学部のみんなと全力で声を出してこたえてくれた白組のみんなでした。練習では、少ない練習時間をロスさせてしまったり、うまく教えられなかったりしたけど、団員のみんなはしっかりとついてきてくれました。本番では、いつもは長いと感じていた白組の応援も、あっという間に終わってしまったように感じました。

結果としては紅組に負けて市会ったけれど、「応援合戦は、白組の勝ちだったよ。」「声がよく出ていたね！」と言葉をかけてもらえて、団長という仕事をしてよかったと改めて思いました。

今回の運動会を通して、「自分に向かないと思っていた仕事でも、挑戦すればきっとできる。これからはやる前から無理と言わずに、まず一歩前に踏み出してみよう」と考えることができるようになりました。

白組団長 川喜田 希 (かわきた のぞみ)



一滴の水について

ムト・パトリーツィア

世界は休みなく流れていく。大きい河のように、過去から無限の未来へ向かっている。我々の人生も同じようなものだ。生まれてくる瞬間から死ぬ時まで一秒も休まずに続けていく。しかし、我々の人生は世界の河とは違う。我々の人生は無限ではなく、むしろ世界の流れからみれば一滴の水に過ぎないものだ。人間という存在は、時間が大変限られている。

私は、最近迷いながら色々な考えごとをしている。今まで生きてきた人生は正しかったか。振り向いたら後悔ばかりで

はなく、いい思い出だけが並んでいるのか。これからの将来はどうなるのか。本当に進むべき道を歩いているのか。不安のあまり、目の前にある道さえもかすみ始める。困惑で天からの導きを悲願しても、答えは出ない。

そこで、その迷いの埃が積もった隘路に座り込み、顔を手に埋める。そうして考える。考えて、考えて、たくさんの考えが頭に浮かんでくる。そしてそこで、ある瞬間に、その埃の積もった隘路の上で、自分の真実をわかった。



人は鳥のように空を飛べないと思われている。自然が飛ぶ能力という恵を人間には与えなかったからだ。だから、飛ぼうとしても、太陽に接近しすぎたイカロスのように結局自分の羽を固めた蠟が溶け、墜落せざるを得ないという。しかし、私が気づいたのは、人間も飛ぶことができるということだ。人間に本当の翼を与えるのは、自分で抱えている夢だ。

私は夢見る少女だった。寝ても起きて、夢に乗ってピーターパンのように青空を走っていた。時には翼を広げて見ず知らずの国々を飛び回り、夢で思い描いた国を訪ねた。時には将来の方に向けて家族と幸せな日々を送っているキャリアウーマンの姿を見た。乙女の夢でよくあるような、白い馬に乗っている、優しい笑顔の王子様も何回も想像した。夢を見れば日常生活から脱出できた。

しかし、夢が与える可能性はこれだけに限られていない。夢はモチベーションの源ともなる。私は小さい子供の時から抱いていた夢をもって、それを叶えるために常に努力してきた。小さな進みでも計り知れない喜びを感じて、羊雲と一緒に青空に浮かんでいるようだった。この浮かんでいる気持ちは私にとって何よりも大切に、どうしても放したくなかった。つらい時もこの気持ちにしがみつき、一つの大きい夢のために最大限の努力を払った。そしてあの日、何年間もの尽力の結果として、夢を叶えた。

その日は初めて実際にも空を飛んで、夢の方向に向かった。毎日信じられないほど不思議で、新しい冒険を追いかけながら日々を過ごした。私は、幸せだった。

しかし、その1年間の夢も終わりを告げた。やはり人間は空を飛ぶ生き物ではないと思った。太陽に接近したら結局自分の羽を固めた蠟が溶け、墜落せざるを得なくなる。私も夢の青空から地面に落ちてしまった。

そしてそのまま時間がたつと、ある日何かに気づいた。心はいつの間にか空しくなり、昔の空飛ぶような軽い気持ちが消えて、不安と心配の鎖に縛られるようになっていた。私は、夢見ることをやめた、ということに気づいた。

人はなぜ夢見ることをやめるのだろうか。これは大人になるという恐ろしいことなのだろうか。ピーターパンのように空を飛べたのに、いつの間にか役割が変わり、ウェンディと一緒に大人の世界の心配事を背負うようになった。怖くて不安な毎日の中で夜明けさえも黒かった。理由も知らず、羽が折れたまま単調な生活を躓きながら送っていた。

しかし、私はそこで、その埃の積もった隘路の彼方で光が見え、自分の真実が分かった。人間は大人といっても、夢を見るべきだ。一つの夢を叶えても、何度も新しい夢を探るべきだ。人間の時間は限られているからこそ、夢に乗って、風

に乗って、単調な毎日の壁を突き破るべきだ。そして何よりも、大きい夢を見る勇気を持つべきだ。夢のない人生は滲んだ鏡のようにいびつな現実を映している。我々はそのいびつな現実を本物だと信じがちで、そのせいで最後の希望もあきらめるようになるのではないのか。自らの夢を大切にして、毎日そのために頑張る生活は幸せだと、私は思っている。

夢なら、どのようなものでも大丈夫だ。みんなは自分の人生の主人公であるため、

正しくない選択なんてない。すべては正解なのだから。何をしても、どのような判断をしても、自分の知識が増え、経験を得ることができる。人生は七転び八起きของเกมだからだ。しかし、夢や努力をあきらめることは自分の翼を折ることと同様だ。人間は翼があるからこそ、この一滴の水のような生活を後悔なく、空を飛びながら過ごすべきだと、私は信じている。

東京大学サマーコースに参加して

ツイツェリ・クラウディア (Klau)

ホルヴァート・バルバラ (Barbi)

ミカ・レベンテ (Levi)

フェヘル・フルジナ (Fruzsi)

ベツシェニエイ・ボルシカ (Borsi)

ハラス・ドーラ (Dora)

この夏休みの8月に私たちは東京大学の10日間のプログラムに参加しました。このコースでフィンランド人と日本人の学生と一緒に3~4人のグループでリサーチトピックを選びました。プログラム中に一緒にアンケートやインタビューをして、それを授業で学んだ通りに解析しました。

フリータイムに観光に行ったり、日本料理を食べてみました。プログラムの前や後にも日本に残って観光した人が多かったです。グループの経験も個人的な経験も得ることができました。

私たちは、みんながそれぞれ自分の意見や経験を書くことが一番良いと思いました。

公共交通 (Klau)

東京にいる間、参加した皆さんは国立オリンピック記念青少年総合センターに泊まりました。この寮は駒場キャンパスから遠くないですから、毎日東大へ歩いて行けました。三十分ぐらいかかりましたが、それはたくさんの時間ではありませんでした。歩きながら日本人とフィンランドの大学生とたくさん話をしたり、フィンランドと日本について色々知りましたから。

公共交通機関は凄く正確で、私はそれが大好きでした。日本に着いて、成田空港から新宿へ行く電車に乗る前にSuicaも買いました。今度日本に行く時は、このカードを又使いたいです。

語学学習の機会 (Barbi)

私たちはこのサマーコース中に日本語も英語も練習できました。日本語の授業中に日本人と一緒にいろいろなタスクをしながら日本語でたくさん話さなければいけませんでした。だから

たくさん新しい表現と漢字を勉強しました。日本語がわからない時、英語で日本人に聞くと、日本人はいつも根気よく手伝ってくれました。皆はとても親切でした。

私たちは毎日授業中に楽しいタスクをしました。例えば一回目は食レポのビデオを一緒に見ました。その後、私たちも食レポをしなければいけませんでした。それは私たちの宿題でした。次の日、皆は自分の食レポのビデオをフェイスブックのグループにアップロードしてから、一緒に全部見ました。はじめはちょっと恥ずかしかったですが、一緒にたくさん笑いました。とても楽しかったです。

サマーコースのメインタスクは研究でした。研究は英語でしなければいけませんでしたので、英語でもたくさん話さなければいけませんでした。だから皆は英語が上手になったと思います。



食べ物、レストラン (Levi)

このコースに参加することはとても有用だと思います。私たちの学業の将来に使えるからです。例えば論文の書き方もそうです。フィールドワークをもう一度やりたいのであれば、どうやって始めればいいのか、もうわかります。

日本のレストランはハンガリーのより良いと思います。ウェイターは元気だし、お絞りはとても便利だし、テーブルの上で最初に全てを見つけられます。然し、レストランで行列で待つことと、お通しがあることはちょっと変です。

14日間たくさん美味しい日本料理を試しました。日本ではパスタと鶏肉が特に旨いと思います。ラーメンをたくさん食べましたが、醤油ラーメンが一番好きでした。すごく辛い唐揚げも試しましたが、お腹は大丈夫でした。寿司屋ではたくさん魚や海の幸を食べられます。いろいろ食べましたが、その中で天ぷらが一番美味しかったです。また友達と一緒にかき氷を食べたのも楽しかったです。でも、もっといろいろな食べ物を試したかったです。

山中湖の旅行 (Fruzi)

プログラムの中で私たちは山中湖に2日間行きました。そこには東大の施設があってそこに泊まりました。日中はグループタスクをして、午後から遊びました。山中の特産物を食べにレストランに行き、その後自転車で富士山を見に行きました。写真をたくさんとったり、きれいな空気を楽しみました。私たちは日焼けをしたり、部屋では日本式のたたみにふとんをしいて寝たりもしました。都会からはなれた生活もまた楽しかったです。

またこの機会にプログラムの皆とお互いを知ることができ、一緒に楽しむことができてよかったです。

研究の仕方の勉強 (Borsi)

このプログラムの目的はグループリサーチでした。その為に、ほぼ毎日研究メソッドについて授業を受けました。どうすれば本当に正しい研究ができるかを勉強する事が出来ました。この授業のお蔭で今までの考え方と違う考え方も生まれました。研究をすることは簡単なことではありません。時々先生達も迷いました。新しく学んだ事を毎朝のふりかえりのクラスとブログエントリーで復習することが出来ました。この10日間でこんな勉強も出来て嬉しかったです。ハンガリー人ではない人と協力して、文化的にも色々教わりました。日本人の学生達と一緒にリサーチをするのはとても楽しかったです。

今まで(ヨーロッパで)見た世界と違う世界が見られました。新しい経験を毎日得る事が出来ました。

グループワーク、フリータイム (Dóra)

私たちのグループでは、皆の興味が似ていたので、皆で協力して進めることができました。さらに、授業もとても有用でためになり分かりやすく良かったです。私としては、特に楽しかったレッスンは研究方法のプレゼンテーションについてのレッスンでした。何故かと言うと、

良く構造化されていて、分かりやすく、インタラクティブだったからです。そして習ったことは将来にも使えると思います。

フリータイム活動では前からやってみたかった事も出来て、とても嬉しいです。例えば野球をととてもやってみたかったので、秋葉原でバッティングセンターに行ってみたことはとても楽しかったです。それに、新しい友達が少しだけカルタも教えてくれました。一番好きな歌はちはやふるです。

一緒に過ごした時間を本当に大事にします。みなさんとまた会いたいです。この機会をまことにありがとうございました！



柔道指導者としてのハンガリーでの生活

川口 優大 (かわぐち ゆうだい)

ハンガリーでの活動の概要

私は 2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までハンガリー・ミシュコルツの MVSC (Miskolc Vasutas Sport Club) で柔道の指導者として雇っていただき活動しておりました。活動内容は、平日は朝 7 時からカデ世代 (18 歳未満) の選手の朝練、その後 9 時ころからシニア世代 (23 歳以上) の選手とトレーニング、その後は休憩で午後は 17 時より 10 歳くらい 60 歳を超える柔道に携わる人々への柔道指導を行っておりました。土日は試合が多く、少ない月でも月に 2 回は試合が行われていました。試合の日は遅くて 7 時頃にミシュコルツを出発、帰ってくるのは日付が変わった次の日ということもありました。平日よりも休日の方が大変でした。試合がない土日はブダペストまで遊びに行ったり、家でゆっくり過ごしたりとしておりました。

言語面ではブダペストでは英語が通じるものの、ミシュコルツではあまり英語が通じず、赴任当初は、英語で話したことを高校生くらいの生徒にハンガリー語に直してもらって指導するというように行っておりました。2,3ヶ月もするうちに柔道やスポーツ身体の部位や、動かし方に関する表現は覚えて指導は問題なく行えるようになりましたが、日常での会話はなかなか難しいことが多かったように記憶しております。

待遇面としては、給与の他に、一人で住むには十分な広さの家 (2K) の家賃、レストランでの昼食、ミシュコルツ市内での公共の交通機関の交通費を MVSC の方から出していただき、生活に不自由はありませんでした。

ハンガリー赴任の経緯

上述のような恵まれた待遇で、ハンガリーで活動することが出来たのは、私の前任者である日本人指導者の活躍が大きかったと思います。前任者は大学の卒業後に、大学のハンガリー人の英語の教師のツテでこの仕事に就いたと伺っております。赴任当初の給与は私の 1/4 程度で、もちろんハンガリー語も出来ず、かなり苦しい生活をしていましたそうです。独学での勉強や、語学学校に通い、また柔道指導での実績を出すに連れて私が受けていた待遇になるように交渉していったそうです。周りには、頼れる人間もおらず、初めてはたらいく場所が海外で、外国語での条件交渉をして、実績も出していたので、相当な努力をされたと思います。

この前任者が自信のキャリアアップのために、別の国でのコーチ就任が決まり、MVSCが後任を探していた時に、私が外国での柔道指導者としての職を探していたため、赴任に至りました。私自身としては、漠然と外国での暮らしがしたいという想いと、それを実現するために私ができることが柔道の指導者であったため、この職を探しておりました。ハンガリー以外にもいくつか指導者の話を聞いておりましたが、英語以外の言語も勉強したいという気持ちもあり、最終的にハンガリーを選択しました。

ハンガリーでの生活

生活面において、まずは食事。ハンガリーの食事は特に癖のあるものは少なく、私の口には非常に合いました。ただ、パプリカ粉を使った料理が多く、刺激が強いため、胃が弱い方には合わないみたいです。大きな都市には、街中のいたるところにハンバーガー屋、ピザ屋、ケバブ屋、パン屋がありこれらが一食分で500ftから2000ft（250円から1000円）くらいで食べられました。ブダペストに行けば、日本食レストランやアジア食材店などもあり、食事面はあまり苦労せず、たまに高級なレストランでハンガリー料理を楽しむこともできました。

住居に関しては、広さは申し分ありませんが、ユニットバスが基本であったり、洗濯機がおけない家が多かったり、浴槽に入れない家が多かったり、日本人にとっては中々普通基準のものは少ないように思いました。また冷房がある家はあまりないようで、ハンガリーの暑い夏には苦しめられました。逆に暖房設備はかなりしっかりしており、冬は特に問題なくすごせました。

服などに関しては、ヨーロッパということもあり、日本では中々サイズの見つからない私にもピッタリの服を見つけることは簡単でしたが、食事ほどの物価の安さは感じられない印象でした。

人に関しては、ハンガリー人は素直だなという印象でした。知らない人間を最大限警戒し、仲良くなったら、よく話すという印象です。また在ハンガリーの日本人も結構多く、特にブダペストやデブレツェンなどの都市には日本人コミュニティがあると聞いておりました。私も何度かブダペストでたまたま会った日本人と仲良くなり、そのまま食事に行ったりもしました。

総じて、日本人には言語の面以外では非常に住みやすく、旅行にもオススメな国だと思いました。

柔道の指導者としては、まだまだハンガリー柔道は発展の余地を残しているなと思いました。特に「忍耐」という柔道創始者の嘉納治五郎先生の教えの一つは、十分に浸透はしていないように感じました。一方で彼らから、学ぶことも多く、純粹に柔道を楽しむことを彼らは素でやっているように感じました。この矛盾しているような2つ要素をうまく、取り入れていけるかどうか、今後の発展に関わってくるように思います。またこれらの経験を通

して、外国で生きていくことの大変さを感じる事が出来ましたが、一方で「やってみればやってみればやれないことはない」といった印象もいただきました。ハンガリー在住のとき、ヨーロッパ各地で多くの日本人と出会い、皆が様々な形で生活をしていました。日本から海外に行ってみたくという気持ちがある方で、この記事に目を通した方には是非、形に拘らずにチャレンジしてほしいと思います。



ハンガリーの生徒と国際大会の遠征時

日本人音楽家としてハンガリーで何ができるか

ハンガリー国立リスト音楽院ピアノ科

渡辺 絢星 (わたなべ けんせい)

ハンガリー国立リスト音楽院…ピアノの魔術師と呼ばれたリスト・フェレンツの名が付けられた世界で唯一の音楽院で、ハンガリーにおける音楽教育の最高権威。

リスト音楽院の存在を知ったのはいつだったか、もう忘れてしまったのですが（恐らく自分が高校生の頃だったかどうか…）、ただただすごいなあという漠然なイメージしかありませんでした、ましてやハンガリーという国の知識は皆無だったので、なおさら漠然な存在でした。

高校卒業後は上野学園大学演奏家コースに進学し、ピアニストの干野宜大先生のもとで音楽を勉強することになるのですが、この出来事が自分自身をハンガリーへ導くことになるきっかけになったのだと、今思い返してみるとそう思います。そうなのです、干野先生はハンガリーに留学され、リスト音楽院で学ばれていたのです。先生にとってもハンガリーでの留学生活はとても濃厚なものだったようで、思い出話をたくさん聞かせて頂きました。



大学に入学してから最初の秋、なんと日本に Nádor György(ナードル・ジュルジイ)教授という、当時干野先生がリスト音楽院で師事されていた方が来日しレッスンをされるということで、レッスンを受けさせて頂くことになりました。これが私にとって初めてハンガリーに触れる体験となりました。初めて体験する本場のクラシック音楽に感動したのを今でも覚えています。

ナードル先生は毎年秋に来日されていたので、年1回ですがレッスンを受けることが出来ました。大学卒業が近づくにつれて進路を迫られた時に、「留学」という選択肢が出てきた時、留学先は「ハンガリー」、習いたい先生は「ナードル先生」と、もうすでに心が決まっていたと思います。ありがたいことに両親も「卒業したらどこか留学してこい」と背中を押してくれたこともあり、大学3年生の秋のレッスンでナードル先生へ弟子入りの志願を迷わずしました。先生も歓迎してくださり、いよいよ留学のための本格的な準備に取りかかるのでした。

まずは語学の勉強をスタートしました。幸いなことに、東京でハンガリー語を教えているネイティブの方を見つけることができ、本物のハンガリー語を学ぶことができました。これは自分にとって留学の大きな問題点のひとつである「言葉の壁」を少しでも低くしてくれた大きな出来事でした。

大学4年生の夏に、下見もかねてついに初めてハンガリーへ飛び立ちました。これもまた幸いなことに、門下生の先輩でリスト音楽院で学ばれていた方を通じて、そのご友人の方に首都ブダペストや学校の案内して頂き、当時何もわからなかった自分にとって本当に助かりました。

そして大学を卒業し、いよいよ留学試験を受けるためにハンガリーへ再び飛び立ち、何とか合格を手にすることができました。まさか自分がリスト音楽院に入るとは、音楽の道を志した約10年前の自分からすれば夢にも思っていなかったと思います。両親をはじめ先生方、友人や先輩方のサポート無くして留学は成し得なかったことです。

ハンガリーでの留学生活は今年の9月から3年目を迎えました。こちらでの生活は「ピアノ」「語学」「演奏会・オペラ鑑賞」が主な日課です。レッスンは現在は週に1回60分真剣勝負です、自分の下手さ加減から毎回怒られながら、レッスンが終わった時はへこたれることが多く、絶望のあまり鎖橋の上から美しき青きドナウに何度飛び込もうと思ったことか…でもめげずに3年目を迎えています。語学は週に3回、月曜日と金曜日は学校が無料開講している日本人教師によるハンガリー語の授業、水曜日はハンガリー人による授業に出席しています。少し早めにハンガリー語を勉強していたため、日常会話が問題ないレベルの上級クラスに呼ばれ、いざ授業に出てみると自分よりもハンガリー語を流暢に話す留学生だらけで、これまたドナウ川に飛び込みたくなる始末…正直ピアノレッスンよりもタフですが、これもめげずに頑張っています。留学って一見華々しいようで、実は厳しいことの連続なんだと痛感させられています。レッスンや授業も無く、時間がある時は演奏会やオペラを鑑賞するようにしています。ブダペストは特に音楽学生にはありがたい

街で、リスト音楽院はもちろん周辺には国立歌劇場や MÜPA(ブダペスト芸術宮殿)などのホールがコンパクトにまとまっていて、なおかつ日本よりも安い物価のおかげで、かなりの安値で鑑賞することができます。いつも日本の友人には「自動販売機でジュースを買うような感覚で」と説明しています。さらにリスト音楽院で行われる演奏会に関してはリスト音楽院の学生は無料で聴けるシステムは本当に素晴らしいと思います。日本で同じような演奏会を聴こうものなら出費がとんでもないことになるので、本当にありがたいです。オペラも日本で観られなかった分を一気に取り返すように、国立歌劇場やエルケル劇場へ足を運んでは、たくさんの演目を観るようにしています。

留学1年目はやはり何かと不慣れなことばかりで異国での生活に順応することで精一杯でしたが、2年目からは少しずつ軌道に乗りはじめ、演奏活動やその他のお仕事も頂けるようになってきました。直近ではサクソフォンの講習会での伴奏要員や、研修旅行でブダペストへいらした音楽短期大学のグループに対してレッスンの通訳を担当させて頂きました。これらはどちらもハンガリー語で行い、自分自身大きなチャレンジとなりました。まだスタート地点ではありますが、ようやくハンガリー語で勝負ができるようになり、大きな自信へとつながりました。

最後にこれからハンガリーでやっていきたい2つのことについてお話ししていこうと思います。

まず1つ目は『ハンガリーを日本に発信すること』です。上野学園大学演奏家コースピアノ科同期13名で立ち上げた「TRUMP」という音楽団体に活動をしているのですが、演奏活動をひとつのメインにしている団体ですが、この夏からYouTubeを通してクラシック音楽の楽しさを伝える活動も始めました。そこで私が音楽留学をしていることから、【けんせーの留学を丸見せ！】というコーナーを持たせて頂くことになりました。音楽留学を考えている音楽学生や純粋にヨーロッパの音楽界に興味を持たれている方々をターゲットに、ハンガリーにおける留学の気になるや文化、風景をお届けしていきます。これから本格化していくので、ぜひチャンネルをご覧になって頂きたいと思います。

そして2つ目は『日本をハンガリーに発信すること』です。もうすでに実践していることではあるのですが、何か演奏する機会を頂いた際には、積極的に日本人作曲家の作品、つまりメイド・イン・ジャパンの音楽を取り上げるようにしています。これは個人的な考えですが、クラシック音楽を勉強するとどうしてもヨーロッパの作曲家の作品を勉強する事になります。ドイツやフランス、ロシア、もちろんハンガリーもそうです。どの国にも英雄的な作曲家がいて、人々は敬意とプライドを持っています。日本の場合はどうでしょう、プライドが無いとは言いませんが、そのような意識は本場ヨーロッパと比べてしまうと歴史が浅い分、薄いのかもしれません。でも私はそのような中でも日本産の音楽だって決して負けてなんかはいないぞと思っています。せっかく留学しているのだからそれらを発信していきたいと思いました。もちろん日本の音楽、そして日本を心から愛しているか

らこそその行動です。今年の4月にブダペストで開催したリサイタルでは、山田耕筰氏の作品など、日本を感じることでできる作品を取り上げました。ハンガリーの聴衆の皆様には、普段耳にすることのできない音楽を興味深く聴いて頂きました。

少し話がずれますが、音楽のこと以外で強く衝撃を受けたことがあります。外国人留学生とお話する時に、各々自分の国を良く知っていて、自分の国に誇りを持っているということです。文化はもちろん、政治の話など何から何まで深く知っているのです。そして他の国々、特に日本には大きな興味を持っていてくれます。何とか説明はできたものの、語学力の乏しさや、単純な知識不足でより深く日本のことを説明できなかつたことがあり、自分は日本人なのに日本のことをそこまで知っていないんだなどひどく落ち込みました。

留学というのは、語学や文化など「その国を知る」というのはもちろんですが、「自分の国を知ってもらう」ことも大切な活動のひとつだと信じています。私はたまたま音楽家としてハンガリーに留学している1人の日本人なので、自分の強みである「音楽」を活かして日本の美しさを積極的に発信していこうと思っています。

まだこれから自分のハンガリー留学生活は続いていきますが、まずは自分自身が全てにおいて強くなることを第一に考えて、引き続き邁進していきます。そして留学を終えて日本に戻ったとしても、音楽に携わる者として常に日本とハンガリーを繋ぐ存在でありたいと思っています。ハンガリー留学を過去の思い出にせず、留学という括りが無くなった後でも、自分自身が挑戦そして成長できる場所がハンガリーにはあり続けるというのが一番の理想です。

【イベント情報】

■CAFe ブダペスト現代芸術フェスティバル 10月5日-19日

会場：ブダペスト市内各会場にて

今回のテーマは、『バルト諸国の芸術』。

ラトビア、エストニア、リトアニアの芸術に焦点を当てた自立100周年を祝い、クラシック、ジャズ、劇場、ダンス、サーカスなどが楽しめます。

<https://cafebudapestfest.hu/events>

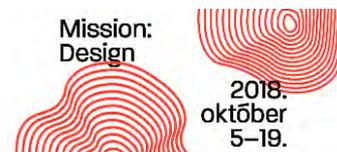


■デザインウィーク 2018 10月5-19日

ブダペスト市内100か所で各デザイナーの作品出店されます。

今年は、ハンガリーの最も重要な貿易相手国であるドイツがゲスト国として参加

<https://designweek.hu/2018/>



■第33回 SPAR ブダペストマラソン 10月6-7日

3万人以上の参加者がいる大規模なマラソン大会。

<https://www.sparbudapestmaraton.hu/>



■第2回パラチンタフェスティバル 10月7日

会場：Balaton Riviéra Turisztikai Egyesület (Vasút u. 3., Alsóörs, 8226)

<https://www.facebook.com/events/680136729020914/>



■アートマーケットブダペスト 10月11-14日

会場：ミネナーリシュパーク (マムート裏)

ハンガリー人を始め約25カ国からの海外アーティスト約500人が参加する国際現代アートフェア

<http://artmarketbudapest.hu/?lang=en>

■第6回クルトッシュ・カラーチフェスティバル 10月12-14日

会場：12区 Gesztenyés kert, 1124, ブダペスト

https://www.facebook.com/events/524104314713982/?active_tab=discussion



■第5回ソーセージフェスティバル 10月12-14日

会場：ハンガリー鉄道公園 / MAGYAR VASÚTT. PARK (BP, 1142 TATAI ÚT

95.)



■WORLD PRESS 写真展 2018 現在~10月23日

会場：ハンガリー国立博物館 ブダペスト市8区 Múzeum körút 14-16.

第61回世界プレス写真コンテスト受賞写真が集結。

この作品は世界125カ国4,548人の写真家による73,000点以上の写真より選ばれました。見ごたえ充分です。

<https://mnm.hu/hu/node/4260>

<https://www.facebook.com/temofeszt/>

WORLD PRESS PHOTO

KIÁLLÍTÁS
2018
BUDAPEST

■第10回鉄道模型国際フェスティバル 10月20-22日

会場：ブダペスト鉄道歴史パーク / Magyar Vasúttörténeti Park Alapítvány



1142 Budapest, Tatai út 95.

<https://www.facebook.com/temofeszt/>

■1956年革命および共和国宣言記念日 10月23日

国会議事堂、国立博物館などが入館無料。

その他にも各地各会場で様々なイベントが行われます。

【コンサート情報】

★第20回国際ハープフェスティバル 10月5日-14日

会場：グデュルー宮殿（グデュルー市）

http://www.kiralykastely.hu/tartalom.228.xx_jubileumi_nemzetkozi



| ♭ソロ、 ※室内合奏団、 ♪オーケストラ、 #室内楽、 ♪合唱音楽、 ∞その他 | |
|---|---|
| <p>∞1日(月) 19:30 芸術宮殿バルトークホール テノール3 レネー・バルベラ(アメリカ)マキシム・ミロノフ(ロシア) ファビオ・サルトーリ (イタリア) ハンガリー国立オペラ座オーケストラ 指揮：アンドリー・ユルケヴィッチ 曲目：ヴェルディ、モーツァルト、ドニゼッティ、 ベッリーニ、ロッシニ、プッチーニ、 その他オペラ序曲、テノールアリア曲より</p> <p>※2日(火) 19:30 芸術宮殿バルトークホール リトアニア室内楽合奏団 指揮&ヴァイオリン:セルゲイ・クリロフ (ロシア・イタリア) 曲目：アルヴィダス・マルシス：ミルキーウエイ バーンシュタイン：プラトンの『饗宴』による セレナーデ その他</p> <p>♭3日(水) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ファシャング・ラースロー (オルガン) マーチャイ・パール (俳優) 曲目：リスト：コラール「アド・ノス、アド・サルタレム・ ウンダム」による幻想曲とフーガ メフィスト・ワルツ その他</p> <p>※4日(木) 19:00 リスト音楽院ショルティーホール サバディ・ヴィルモシュ(ヴァイオリン) ファルカッシュ・ガーボル(ピアノ) 曲目：モーツァルト： ピアノとヴァイオリンのための6つの変奏曲 KV 360 フランスの歌『羊飼いの娘セリメーヌ』の主題に よる12の変奏曲 KV 359 その他</p> | <p>♪♭5日(金) 19:00 イタリア文化センターホール イングリッド・フジコ・ヘミング&マーヴ交響楽団 指揮：コシック・マリオ 曲目：ショパン：英雄ポロネーズ リスト：ラ・カンパネラ モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番 その他</p> <p>♪6日(土) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ブダフォキ・ドホナーニ交響団 指揮：ワーナー・ガーボル 曲目：バッハ：2台ピアノの為の協奏曲ハ長調 BWV 1061 モーツァルト：2台ピアノの為の協奏曲 K. 365 グリーグ：ピアノ協奏曲 op. 16</p> <p>♪6日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール ドミトリー・シンコフスキー (ヴァイオリン、カウンターテナー) ラ・ヴォーチェ・ストゥルメンターレ (バロックオーケストラ) エレナ・ダビドワ、Svetlana Ramazanova(ヴァイオリン) マリア・Krestinskaya (ヴィオラ・ダ・ガンバ) ルツァ・ピンツァ (ラント) 曲目：ターフェルムジーク第2集トリオ協奏曲 TWV 53:F1 ヴィヴァルディー：四季 その他</p> <p>#8日(月) 18:30 リスト音楽院大ホール リスト音楽院優秀生&教授陣による室内コンサート 曲目：バッハ：ブランデンブルグ協奏曲ニ長調 BWV 1050 ブラームス：ピアノ4重奏 その他</p> <p>#9日(火) 19:00 リスト音楽院ショルティーホール バーリント・ヤーノシュ (フルート) Silesian 弦楽四重奏団 (ポーランド)</p> |

| | |
|--|---|
| <p>♩ 4日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ハンガリー国立合唱団&ハンガリー国立オーケストラ ヴァルダイ・イシュトヴァーン (チェロ) 指揮：ベルトラン・ド・ピリー (フランス) 曲目：デュティユー:チェロ協奏曲「遙かなる遠い国へ」 ラヴェル:パレエ音楽『ダフニスとクロエ』その他</p> | <p>曲目：CHRISTIAN WINTHER CHRISTENSEN：弦楽四重奏 ゴレキ：弦楽四重奏第1番 op. 62 その他</p> |
|--|---|

♭ソロ、 ※室内合奏団、 ♪オーケストラ、 #室内楽、 ♩合唱音楽、 ∞その他

| | |
|---|--|
| <p>♪ 9日(火) 19:30 リスト音楽院大ホール ハンガリー放送交響楽団 75周年記念コンサート ハンガリー放送交響楽団&合唱団 ホルティ・リッラ、ガール・エリカ、 ホルヴァート・イシュトヴァーン、 コヴァーチ・イシュトヴァーン (歌手) 指揮：ヴァーシャーリ・タマーシュ、 コヴァーチ・ヤーノシュ 曲目：バルトーク：舞踏組曲 コダーイ：ブダ城のテ・デウム</p> | <p>※17日(水) 19:30 リスト音楽院大ホール 魔法のフルート ブダペスト弦楽合奏団 ドラホシュ・ベーラ(フルート) ヴィーグ・アンドレア (ハープ) 曲目：モーツァルト：フルート協奏曲 K. 313,314,315 ハープ協奏曲 K. 299</p> |
| <p>♪ 11日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール 大作曲家コンサート ハンガリー国立オーケストラ シモン・トルプチェスキ(ピアノ、マケドニア) 指揮：ファブリス・ポロン (フランス) 曲目：ブラームス：ピアノ協奏曲ニ短調 op. 15 ツェムリンスキー：交響詩「人魚姫」 その他</p> | <p>♩ 18日(木) 19:30 イタリア文化センターホール セメレ・ジタ、バコシュ・コルネーリア、 サツパノシュ・ティボール、バコニ・マルツェル(歌手) ハンガリー国立オーケストラ&合唱団 アンゲリカ合唱団 指揮：ショモシュ・チャバ 曲目：ハイドン：ニルソン物語 Hob. XXII:11 オルバン・ジュルジ：Ricercare</p> |
| <p>♪ 12日(金) 19:00 リスト音楽院大ホール マーヴ交響楽団 メラート・アンドレア (ソプラノ) 指揮：チャバ・ペーテル 曲目：マーラー：リュッケルト歌曲集、交響曲第5番</p> | <p>♩ 18日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール オーブダ・ダヌビア交響楽団 ユハース・アティッラ (ピアノ) 指揮：アジス・サディコビ. ッチ (オーストリア) 曲目：ケージ：4'33" ドボルザーク：交響曲第9番『新世界』 その他</p> |
| <p>♪ 12月(金) 19:30 ベシュティ・ヴィガド ハンガリー国立オーケストラ シモン・トルプチェスキ(ピアノ、マケドニア) 指揮：ファブリス・ポロン (フランス) 曲目：ブラームス：ピアノ協奏曲ニ短調 op. 15 ベートーベン：交響曲第4番変ロ長調 op. 60</p> | <p>♪ 19日(金) 19:00 旧リスト音楽院ホール ラーンキ・フルップ (ピアノ) 曲目：リスト：大演奏会用独奏曲 ハンガリー狂詩曲第5番、ロ短調ソナタ</p> |
| <p>※14日(日) 19:30 リスト音楽院大ホール グドゥルー国際ハープフェス 20周年コンサート ヤナ・ボウシュコヴァー(チェコ) サーシャ・ボルダチョフ (ロシア)、</p> | <p>♪ 19日(金) 20:00 マーチャーシュ教会 ハンガリー放送交響楽団&合唱団&児童合唱団 セメレ・ジタ、バコシュ・コルネーリア、 メジェシゾルターン、ナイバウア・ローラント(歌手) 指揮：カンブ・サラモン 曲目：バッハ：Wachet, betet, seid bereit allezeit 70のカンタータ</p> |

| | |
|--|--|
| <p>ヴィーグ・アンドレア、ブダペスト弦楽合奏団 曲目：ガラコンサートプログラム フェケテ・ジュラ：ハーブ協奏曲(初演) ボイエルデュ：ハーブ協奏曲ハ長調 op. 77 他 # 16日(火) 19:00 半狩り国営ラジオ大理石ホール ニルス・メンケマイヤー (ビオラ、ドイツ) グヤーシュ・マールタ (ピアノ) 曲目：モーツァルト：6つの変奏曲 K. 360 ブリテン：『ラクリメ』 Op.48</p> | <p>ゼレンカ：マニフィカト ZWV 108 その他 ♯ 20日(土) 19:00 リスト音楽院シヨルティーホール Estefanía Avilés, Bakonyi Marcell, Erdős Attila, Erdős Róbert, 今井文音, メラート・アンドア, サボーキ・テュンデ, 吉田真樹子 (歌手) ブダペスト弦楽合奏団 指揮：ドブツァイ・ペーテル、シェレイ・ジョルト 曲目：バーンシュタイン：オペラ「タヒチ島の騒動」 フェケテ・ジュラ：ローマの熱</p> |
| <p>♭ ソロ、 ※室内合奏団、 ♪ オーケストラ、 # 室内楽、 ♯ 合唱音楽、 ∞ その他</p> | |
| <p>♪ 21日(日) 15:00 ドナウ宮殿 桐朋音楽大学コンサート 曲目：日本の秋コンサートプログラム ※25日(木) 19:30 フェステティッチ宮殿 ハンガリー国立オーケストラメンバーによる 室内合奏団 指揮：ハマル・ジョルト 曲目：ハイドン：アルミーダ序曲 ヴァイオリン協奏曲 その他 ♪ 25日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ジュール市交響楽団 ラーンキ・デジュー (ピアノ) 指揮：カールマーン・ベルケッシュ 曲目：リスト：レ・プレリュード S.97 ピアノ協奏曲イ長調 S.125 ワーグナー：タンホイザー序曲 その他 # 25日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール エフゲニー・コロレフ (ピアノ、ロシア) リュプカ・ハジ=ゲオルギエヴァ (ピアノ) 曲目：4手編曲プログラム シューベルト：幻想曲へ短調 D. 940 ストラヴィンスキー：春の祭典 その他 ♪ 26日(金) 19:30 芸術宮殿バルトークホール Pasztircsák Polina, Láng Dorottya, Sebastian Kohlhepp, Jochen Kupfer (歌手) オルフェオ古楽器オーケストラ&プルツェル合唱団 指揮：ヴァシェギ・ジュルジ 曲目：メンデルスゾーン：オラトリオ「エリヤ」 Op.70 ♪ 27日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール Concerto Köln</p> | <p>♪ 27日(土)19:45/28日(日)15:00 イタリア文化センター ブダペスト祝祭管弦楽団 シトカ・ルドルフ (クラリネット) フェエールヴァーリ・ジョルト (コントラバス) 曲目：ボッテシーニ：コントラバス協奏曲ロ短調 メンデルスゾーン：弦楽交響曲第7番ロ短調 ♭ 28日(日) 19:00 チステルツ・聖イムレ教会 ケレメン・バルナバーシュ (ヴァイオリン) 曲目：バッハ曲集より ♭ 30日(火) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ラーンキ・デジュー (ピアノ) 曲目：ハイドン：ピアノソナタ変イ長調 シューベルト：ピアノソナタ変ロ長調 D. 960 ♪ 30日(火) 19:30 リスト音楽院大ホール ハンガリー放送交響楽団 ヴァルヴァラ・Nepomnyaschaya (ピアノ) 指揮：ヴァーシャリ・タマーシュ 曲目：ベートーベン：コリオラン序曲 op. 62 ピアノ協奏曲 op. 37 交響曲第4番変ロ長調 op. 60 ♯ 31日(水) 20:00 マーチャーシュ教会 パリ・ノートルダム寺院宗教音楽 ハンガリー放送混声合唱団 指揮：ヘンリ・シャレット 曲目：CASTAGNET: ミサ曲 „サルヴェ・レジナ” ヴィエルヌ：ミサ曲</p> |

| | |
|--|--|
| ジュリアーノ・カルミニョーラ(イタリア)、 平崎真弓 (コンサートマスター、ヴァイオリン) 曲目：アヴィソン：12の協奏曲 バッハ：ヴァイオリン2本の為の協奏曲 BWV 1043 | |
|--|--|

～会場～

- ・芸術宮殿 バルトークホール / Művészetek Palotája, Bartók Béla Nemzeti Hangversenyterem
IX. Komor Marcell u. 1., Tel.: 555-3000
- ・リスト音楽院 / Zeneakadémia VI. Liszt Ferenc tér 8., Tel.: 342-0179
- ・旧リスト音楽院/ Régi Zenekadémia VI. Vörösmarty u. 35 tel. 322-9804
- ・マーチャーシュ教会/Mátyás-templom I.Szentháromság tér 2.
- ・フェシュティチ宮殿/ Festetics Palota VIII. Pollack Mihály tér 3

【オペラ・バレエ・オペレッタ・ダンス情報】

※国立オペラ座は2019年1月(予定)まで改修工事の為、閉鎖。

現在はエルケル劇場/芸術宮殿 (MÜPA) にて公演

【オペラ座 国内地方公演】

プログラム③10月6日(土) 19:00 Veszprém 市 10月8日(月) 19:00 Kecskemét 市

曲目：Rossini: La scala di seta – overture

R. Strauss: Duet-Concertino for Clarinet and Bassoon

共演：Balázs Romy (クラリネット) Bálint Mohai (ファゴット)

Mozart: Symphony No. 39 in E-flat major, K. 543

プログラム④10月27日(土) 19:00 Zalaegerszeg 市

指揮：ハラース・ペーテル

曲目：歌劇「アルジェのイタリア女」序曲, チャイコフスキー：ロココ風変奏曲

ハイドン：交響曲第92番ト長調

プログラム⑤11月19日(月) Eger 市 20日(火) Salgótarján 市 24日(土) Nyíregyháza 市

指揮：ヤーノシュ・コヴァーチ

曲目：歌劇『セビリヤの理髪師』序曲

ヴィヴァルディー：ダブルコンチェルト 共演：トート・クニユヴェシュ・ミハーイ、

キルシュ・ベンツェ (トランペット)、ベートーヴェン：交響曲第2番

プログラム⑥12月2日(日) Tatabánya 市

指揮：デーネシュ・イシュトヴァーン

曲目：ロッシニ：笑劇『ブルスキーノ氏』序曲

ウェーバー：コンチェルティーノ キッシュ・シャンドール (クラリネット)

モーツァルト：交響曲ハ長調 K. 425

【オペラ座コンサート】

○国際音楽の日 会場：聖イシュトヴァーン大聖堂 16:00～16:40

○オルフ：カルミナ・ブ交響曲 10月3～7日 19:00 会場：エルケル劇場

【ダンスドラマ】 Amar, the lighthunter 10月12日(金)19:00、13日(土)15:00/19:00 会場：エルケル劇場

【子供向けプログラム】

| | |
|--|---|
| <p>★オペラツアー『パパゲーノ』ヤングプログラム 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ 毎土・日曜日 15:000 より(1時間 40分プログラム) 1回 2000Ft/人 2018年10月7, 21日、12月8, 15日 2019年1月13, 20日、2月2, 10日、3月9, 17, 31日、4月7, 28日、6月9日</p> <p>★『リンガトー』0歳～3歳向け会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ 時間：毎月1回土曜日 9:30-10:00 価格：500Ft/人 2018年10月27日、11月24日、12月8日 2019年1月5日、2月9日、3月23日、5月25日</p> <p>★『Afternoon Jam』4～7歳対象 会場：エルケル劇場 1階ベルナートブッフエ 日曜日 15:000 より(1時間プログラム) チケット料：4000Ft.(全公演共通) 1200Ft(1公演) 進行役：ナージ・マーリア 11月4日 15:00、12月2日 15:00</p> <p>★『楽器の魔法』4～7歳対象の楽器紹介コンサート会場：エルケル劇場 1階ベルナートブッフエ 毎週日曜日 9:00-10:00 チケット料：4000Ft.(全公演共通) 1200Ft(1公演) 10月28日、11月4日、12月2日</p> | |
| <p>【バレエ】国内地方公演</p> <p>1. Trois Gnessiennes 2. 白鳥の湖2幕より pas de deux 3. ドンキホーテ3幕より pas de deux 4. 5つのタンゴ ※浅井 友香さんが出演 5. スパルタクス3幕より pas de deux 6. 海賊2幕より pas de trois 7. Black Cake</p> <p>10月 1日(月)19:00 Eger 市 11.17 (土) 19:00 Zalaegerszeg 市 10月 7日(日)19:00 Nyíregyháza 市 11.18 (日) 19:00 Veszprém 市 10月 16日(火)19:00 Salgótarján 市 11.24 (土) 19:00 Kaposvár 市 10月 19日(金)19:00 Békéscsaba 市 10月 20日(土)19:00 Szekszárd 市</p> <p>○3つのダンス 会場：MÜPA フェスティバル劇場 10月12日(金)19:00 プレミア 10月13日(土)19:00 ☒0月14日(日)11:00/19:00</p> | |
| <p>【ミュージカル・オペレッタ】☆ブダペスト・オペレッタ劇場 ☆Budapest, 6th district, Nagymező utca 17.</p> | |
| <p>風と共に去りぬ/Gérard Presgurvic 10.03. 19:00 10.04. 18:00 10.05. 15:00 / 19:00 10.06. 15:00 / 19:00</p> <p>猫の悪魔/ Bella Máté - Karafiáth Orsolya 10.03. 19:00 11. 03. 19:00 10.04. 19:00 11. 04. 19:00 10.05. 19:00 10.06. 19:00</p> <p>ミュージカル物語 ※4歳から対象 10.06. 11:00 10.14. 11:00</p> <p>Mágnás Miska /Szirmai Albert 10.07. 15:00 / 19:00 10.08. 17:00</p> <p>リリ男爵夫人/ Huszka Jenő - Martos Ferenc</p> | <p>センメルヴァイス/Raymond J. Lustig – Matthew-Doherty 10. 12. 19:30 10. 14. 15:00 10. 15. 19:30</p> <p>シカゴ公爵夫/ Kálmán Imre 10.13. 19:00 11. 23. 19:00 10.14. 15:00 / 19:00 11. 24. 15:00 / 19:00</p> <p>ドリアン・グレイ/ Ács János-Várkonyi Mátyás 10.16. 19:00 11.20. 19:00 10.17. 19:00 11.21. 19:00 10.18. 19:00 11.22. 19:00</p> <p>メリー・ウィドウ/ Lehár Ferenc 10.17. 19:00 11. 17. 15:00 / 19:00 10.18. 19:00 11. 18. 11:00 / 19:00 10.19. 19:00</p> |

| | |
|--|--|
| <p>10.08. 19:30 11. 20. 19:30 12. 19. 19:30 10.09. 19:30 11. 21. 19:30 12. 20. 19:30 10.10. 19:30 11. 22. 19:30 アメリカン・コメディ/ Bársony Bálint - Lőrinczy Attila 10.09. 19:00 10.12. 19:00 アビゲール// Kocsák Tibor-Somogyi Szilárd-Miklós Tibor 10.11. 15:00 / 19:00 12. 22. 19:00 10.12. 15:00 / 19:00 12. 23. 19:00 11.03. 19:00 12. 25. 15:00 / 19:00 11.04. 17:00 12. 26. 15:00 / 19:00 神経衰弱ぎりぎりの女たち/ Jeffrey Lane - David Yazbek 10. 14. 19:00 10. 15. 19:00</p> | <p>10.20. 15:00 / 19:00 乏人ジョニーとアルカ姫/ Ervin Lázár - Péter Závada - Edina Mókus Szirtes 10.18. 11:00 11. 06. 11:00 12. 05. 11:00 10.19. 11:00 11. 07. 11:00 12. 06. 11:00 10.21. 11:00 / 15:00 11. 08. 15:00 12. 07. 11:00 10.24. 15:00 11. 09. 11:00 12. 09. 11:00 10.25. 11:00 11. 10. 11:00 10.28. 15:00 11. 11. 11:00</p> |
| <p>ロック・オペラ『イシュトヴァーン王』 / Szörényi Levente - Bródy János 10. 21. 19:00 10. 22. 19:00 10. 23. 18:00 10. 26. 19:00 Operett Gála ハンガリーオペレッタ劇場の日 10.24 19:00</p> | <p>ルクセンブルグ伯爵 / Lehár Ferenc 10.27. 19:00 12. 11. 18:00 10.28. 15:00 / 19:00 12. 12. 18:00 12.13. 19:00 雨に唄えば / Comden-Green-Freed-Brown 10.30. 19:00 11. 02. 19:00 10.31. 19:00</p> |
| <p>【ダンス】 ★国立ダンス劇場 (Nemzeti táncszínház) http://www.nemzetitancszinhaz.hu ○公演情報は随時掲載が更新されていますので、ご確認の上お出かけになられてください。 Facebook HP : https://www.facebook.com/budapestdancetheatre ダンスカンパニーHP : http://www.budapestdancetheatre.hu/ https://www.facebook.com/events/279768405480306/</p> | |



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込）◆A 5 判／ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学
部の定番テキスト。体制転換の理論と転
換直後の現状を分析。各大学で教科書と
して使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の
比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体
制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行—橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を
輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著

日本評論社

定価3800円

